

# 船舶事故調査報告書

平成21年8月20日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員長 後藤昇弘  
 委員 楠木行雄  
 委員 横山鐵男(部会長)  
 委員 山本哲也  
 委員 根本美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月25日09時40分～13時48分ごろ、船長は落水したものと考えられる。）
発生場所	不明（本船が発見された場所は、北海道増毛町港町の海岸であった。）
事故調査の経過	平成20年12月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三十一 <sup>きんこう</sup> 金幸丸、4.9トン HK3-116436（漁船登録番号）個人所有 11.90m(Lr)×3.06m×0.88m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、平成5年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 51歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 不詳 免許証交付日 不詳 (平成25年1月28日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月25日08時30分ごろ、船長1人が乗り組み、北海道増毛町 <sup>べつかり</sup> 別荘漁港を出港し、同港沖1.8km付近でたこ箱漁の操業を行った。09時40分ごろ、付近を航行する僚船が、船長1人で操業している本船を確認した。ふだんは12時ごろ船長から家族に帰港する旨の連絡があるが、この日は12時になっても連絡がなく、家族からも連絡が取れなかった。12時30分ごろから家族の要請で複数の僚船が本船を捜していたところ、13時48分ごろ、増毛町港町の海岸に無人で漂着している本船が、14時10分ごろ、増毛港北方沖1.8km付近で救命胴衣を着用して海面に浮いている船長が発見された。船長は、病院に搬送されたが、死亡が確認された。死因は溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 しゅう雪、風向 西北西、風力 2 海象：波高 0.5m、水温 不明
その他の事項	船長は、出港時は体調良好で、操業中は救命胴衣を着用していた。本船が発見されたとき、揚縄機及び主機は運転状態であった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長が死亡したのは、船長が落水したことによる可能性があると考えられるが、落水した原因は明らかにすることができなかった。死因は、溺水によるものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、別苅漁港沖においてたこ箱漁の操業中、船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。	